

東京病院ニュース

第40号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

統括診療部長就任のご挨拶

統括診療部長 小林 信之



本年4月より独立行政法人国立病院機構東京病院の統括診療部長を拝命いたしました小林信之と申します。20年近く通い続けた国立国際医療研究センターを、そして新宿の地を離れるのは寂しい気もしますが、気持ちを新たに、緑豊かな素晴らしい環境の中、東京病院の発展のために尽力して参りたいと存じます。私の専門は呼吸器ですが、当時の国立国際医療センターに赴任し、卒後15年目にして初めて結核病棟の患者さんを診るようになりました。その後、結核病床数は40床に減りましたが、現在でもトップクラスの結核診療レベルを誇っている東京病院に負けじと、診療規模は小さいながらも頑張ってきました。

このたび結核診療のメッカである東京病院に赴任したのは、何かのご縁と思われまふ。また、東京病院は結核だけでなく、呼吸不全、咯血、胸腔鏡などの呼吸器領域やリハビリテーションにおいても全国有数の施設であり、さらに他の分野においても大いなる飛躍が期待できると感じました。赴任してから1週間足らずですが、なぜ東京病院には若い医師が多く集まるのか？その疑問の答えがみえた気がいたします。このような中で重責を果たすことに一抹の不安もありますが、今までにご一緒したことのある方々に笑顔で迎えていただき一安心いたしました。これまでお世話になった大田院長先生はじめ皆様方には、心より御礼申し上げます。

さて、私が東京病院に来てまず感じた印象は、残念ですが、患者さんが少ないことです。とくに、午後になるとそれが顕著にみられます。私は独立行政法人国立病院機構が誕生する以前に、厚労省の方と一緒に欧州の大きな病院を見学に行ったことがあります。その時は、それぞれの病院は患者さんで溢れ、病院全体の活気に圧倒されましたが、同時に幹部の方々が自ら先頭に立っている情熱に感動を覚えました。病院は患者さんを集めることができなければ何もできません。臨床研究は病院機能評価の重要な指標となりつつありますが、これも患者さんがいなければ何もできません。これまでお世話になった国立国際医療研究センターも、昨年度前半の経営状態は極めて厳しいものでした。しかしそれが、あれよあれよという間に好転し始めました。依頼を受けた患者さんの診療は決して断らないこと、患者さんの入退院をきめ細やかに調整したこと、救急患者を徹底して受け入れたこと、連携医の信頼を得るようになったこと、などがその要因と思われまふが、最も重要なことは職員全員が病院存続の危機感を持ち、経営改善という目標に向かって本気で行動した結果ではないでしょうか？

私はその昔、浅草で生まれ浅草で育ちました。浅草は観光客で賑わっているようにみえますが、夜は閑散として寂しいものでした。しかし、東京スカイツリーができたお蔭で、浅草は若い人で溢れかえり、活気が戻ってきたのです。つい先日は、隅田川沿いで満開の夜桜を満喫し、温かいおでんにお酒、至福のひと時を味わいました。そして、粋なツリーを眺め、墨東綺譚の地に思いを馳せながら考えました。「…自分は治験管理室長や臨床研究支援部の仕事もしたし、喘息やインフルエンザの研究班長も経験した。そして今こそ、東京病院に来て、これまでの経験を活かす時が来た」と決意を新たにしました。

東京病院は、大田院長の強い意志のもと、変わろうとしています。敷地も広いし周りの環境もいい。みんな礼儀正しく、笑顔で挨拶ができる。医師もコメディカルも若い人が集まり出してきている。変わる素地は十分にあります。東京病院が活気に溢れ、もっと元気がでるよう、私も病院スタッフの一員として、皆様とともに頑張っていきたいと思ひます。



幹部職員新任のご挨拶



事務部長 田中 雅典

この度、4月1日付けで東京病院の一員となりました田中です。よろしくお願ひいたします。前任地の古くて暗い病院から来ますと広くて毎日院内で戸惑っています。

私は事務部長として施設は4カ所目です。今までは急性期の病院ばかりで多少不安はありますが、当院も変革の時というお話を伺い、少しでもお役に立てればと思っています。

また、当院の基本方針にもあるように、地域に信頼され、地域に貢献できる病院を目指していくため、大田院長のもと、職員の皆様と共に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

新任のご挨拶

診療部



呼吸器内科医長 廣瀬 敬

呼吸器疾患全般を診療しておりますが、特に胸部画像診断と肺がんの診断・治療を専門としています。当院に受診された患者さんが「受診して良かった」と思ってもらえる様な診療を日々心掛けておりますので、「検診で胸部異常陰影を指摘された」、「肺がんと診断された」などで心配されている患者さんは是非ご相談下さい。



呼吸器内科医長 鈴木 真穂

このたび2年間に及ぶ米国留学から帰国し、当院呼吸器内科に参加させていただくこととなりました。金沢大学を卒業後、東京大学アレルギー・リウマチ内科に入局し、気管支喘息や薬剤アレルギーを専門に勉強して参りました。アレルギー・免疫に興味を持っており、呼吸器内科の主に外来診療と基礎研究を行って参りました。ヒト血球を用いた研究に始まり、培養細胞やマウスを用いた研究まで経験し、今後目指したいのはトランスレーショナルリサーチです。現在までの経験をいかして研究に役立てたいと思っておりますが、特に臨床の経験が不足しておりますため、皆様にはいろいろご指導を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



呼吸器内科医長 田下 浩之

平成25年4月より呼吸器内科へ着任致しました田下浩之と申します。当院ではアレルギー科の外来を担当させて頂くことになりました。前職の帝京大学医学部附属病院では大田院長の下で喘息・アレルギー疾患、呼吸器疾患の診療をしてまいりました。近年、喘息などのアレルギー疾患をお持ちの方は増加しており、PM2.5などによる大気汚染も問題となっている昨今、益々アレルギー診療の重要性が増してくると思われれます。まだ、不慣れではありますが、アレルギー疾患をお持ちの患者さんに少しでもお役に立てるように努力していきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。



循環器内科医長 青木 和浩

循環器疾患全般を診察しております。また特に心臓CTによる虚血性心疾患の診断、その情報を基にしたカテーテル治療を専門にしております。ペースメーカーも対応します。地域医療に貢献できるよう取り組んでまいります。心電図で異常を指摘された方、胸部症状のある方は是非ご相談ください。



神経内科 石津 暢隆

平成25年4月1日付けで着任致しました神経内科の石津暢隆です。平成23年3月に一度当院の勤務を離れましたがご縁を頂き再度お世話になる事になりました。その間、当院を取り巻く環境は大きく変化し、地域医療への積極的な貢献が増々求められていると伺っています。家族が安心して受けられる医療を軸に、神経難病の患者様はもちろんのこと地域医療の一端を担えるよう、臨床、研究ともに全力で取り組んでまいりたいと思ひます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



呼吸器内科 門田 幸

4月からお世話になっております門田幸と申します。主に5西、7西病棟で働いています。私は市中病院で研修終了後、母校の慈恵医大に戻り、3月までは狛江・調布にある慈恵第三病院で働いていました。

東京病院は呼吸器の専門的な勉強を行う場所として最適であるとうかがっています。また、私は保谷や花小金井で生まれ育っており、この地域に愛着があります。そのため、東京病院で働くことができることを大変うれしく思っています。

今後、少しでも患者さんの役に立てるよう日々精進します。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

看護部



副看護部長 宮崎 秀子

4月1日付けで国立病院機構箱根病院から配置換えでまいりました、副看護部長の宮崎秀子です。広い敷地と立派な建物に圧倒されながら毎日を送っています。桜の花が大好きなので、敷地内に咲いている桜をみると、ついつい、足が止まってしまいます。幸せなことに宿舎の自分の部屋から桜を見ることができ、部屋でお花見ができるというプレゼントつきの異動となりました。

今後は、看護部の理念である「患者さまの立場に立った思いやりのある暖かい看護」を目指して頑張っていきますので宜しくお願ひ致します。

コメディカル



診療放射線技師長 勝田 昭一

高崎総合医療センターから昇任で参りました診療放射線技師長 勝田昭一と申します。それまでは国立がん研究センター、東京医療センターで放射線治療を中心に過ごしてきましたが、当院の余裕ある設備や雰囲気に触れ、いろいろな可能性を持つ施設との印象を持ちました。まずは各部門の方々と風通しの良い関係を築き、当院における放射線科の役割を考えてチーム医療、病院の発展に貢献していけたらと考えています。宜しくお願ひ致します。



副薬剤科長 勝海 学

4月1日付で国立国際医療研究センターから副薬剤科長として赴任しました勝海と申します。今までの病院とは違って驚くほど敷地が広く、緑に囲まれた環境のよい病院で勤務出来ることに感激しております。この病院では副薬剤科長という初めてのポジションのため何かとご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、1日も早く病院の一員としてDPC導入や電子カルテ更新などの目標に対して役割が果たせるように頑張っていきたいと思っております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



副臨床検査技師長 久高 果市

平成25年4月1日付で甲府病院から配置換えで参りました久高と申します。

前施設甲府病院は甲府盆地の北部に位置し、周りは山で囲まれ緑が多く景観に恵まれていましたが、ここ東京病院も周囲には自然が多く残っており、すばらしい環境にあると感じています。

東京病院臨床検査科は直接患者様と接する生理機能検査や採血業務、採取した血液や尿などを扱う検体検査、細菌検査、病理検査などがあります。いずれも検査科職員は、精度の高い良質な検査を迅速に報告できるよう日々努めているところです。東京病院の一員として私も微力ではありますが、医療安全に繋がるような努力をしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

レスパイト入院の受入れについて

当院では、在宅でご療養中の患者さんを日頃お世話なさっているご家族をご支援するため、患者さんに一次的に当院へご入院いただくレスパイト入院の受入を行っております。

受入につきまして、改めて下記のとおりご案内申し上げますので、ご多忙のところ恐縮ではございますが、在宅でご療養中の患者さんやご家族の皆様にもご周知いただければ幸いです。

レスパイト入院の対象となる患者さん

ご自宅にてご療養中で、継続的な介護を必要とし、日頃ご家族の方がお世話なさっている患者さん。
(ご家族のご都合等で一時的な受入が必要な方で、レスパイト入院の期間が終了後、必ず在宅療養での受入が可能な方。)

ご依頼方法及び連絡先

別添のレスパイト入院連絡票に必要事項をご記入いただき、以下の連絡先（FAX）までお送りくださるようお願いいたします。内容を確認させていただいた上で、当方より、受入の手続き等、詳細につきましてご連絡させていただきます。

（連絡先）独立行政法人国立病院機構東京病院 地域医療連携室

TEL 042-491-2934（平日の8時30分～17時15分まで）

FAX 042-491-2125

※できるだけ、ご希望の入院日の3日前までにご連絡をお願いいたします。

ご依頼いただいた際に、患者さんのご容体等を確認させていただきますが、ご容体によっては受入が難しい場合もございますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

肺ドック・消化器ドックのご案内

○肺ドック

月～金 9:00～10:00（1日2名）
料 金：26,250円（税込）

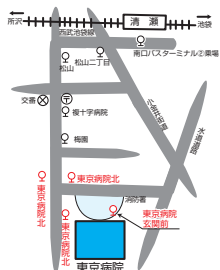
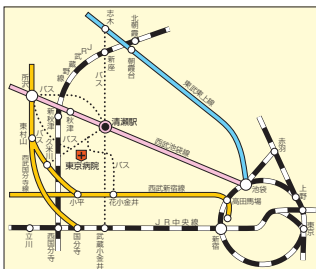
○消化器ドック

月～金 9:00～12:00（1日2名）
料 金：50,400円（税込）

～お申込み方法・お問合わせ先～

予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日8:30～15:30

交通案内



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
(平日は無料シャトルバス運行中)
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)

30分以内 無料

31分～4時間 100円

以後1時間毎 100円

(20時15分～7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院

検索

